

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.35 (2019.2.27)

平成30年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
140年企業としての誇り
～和賀組さんで良かったと言われよう～

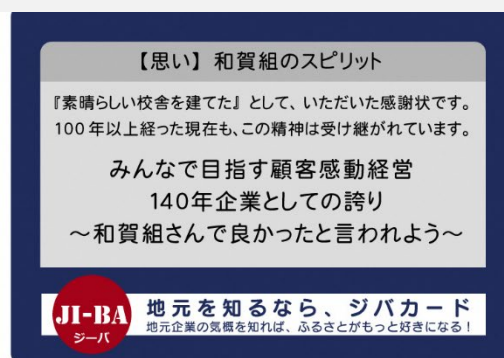
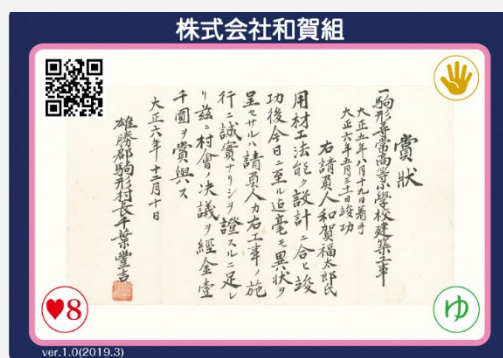
株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

資本金 752 億円、売上高 5,204 億円、営業利益 228 億円、日本を代表する不動産会社レオパレス 21。昨年 3 月にアパートのオーナーから確認通知書類と実物の構造が異なるとの指摘を受け、施工不良問題が表面化しました。その後テレビ東京の番組「ガイアの夜明け」で「違法建築疑惑のスクープ」として界壁の不備が映像で報道され、今年 2 月には 1,300 棟以上の物件で壁や天井に施工不良が見つかったと発表がありました。天井の耐火性能が不足すると判断された 641 棟の入居者約 8,000 名には速やかに転居を要請する事態へとなり、国土交通大臣は必要に応じて国または県が建築士を処分すると答弁しています。

「隣の音が聞こえる、壁が薄い」などの評判は聞いてはいましたが、入居者の命にかかわる界壁の防火性能に影響する部材が設置されていなかったなどという報道には多くの方が驚いたと思います。また防音性能の低いアパートは入居者がすぐに退去してしまい、アパートのオーナーは低い入居率に悩まされることになります。サブリース契約している場合にはレオパレス側が契約の履行ができなくなるため、オーナーに家賃の値下げ要求をせまるなど施工不良の責任をオーナーに取らせているという最悪の結果となっております。オーナーの多くは「レオパレスにしなければよかった」と思っていることでしょう。

今一度、当社のスローガン～和賀組さんで良かったと言われよう～を読み返してみましょ。そこにはお客様・施主様が笑顔で感謝している姿が思い浮かべられます。うれしいことに当社が施工した賃貸物件の多くは満室に近い状況が継続しております。そこには 140 年を超える会社の歴史の中で、「品質には妥協しない」という DNA が確かに醸成され受け継がれているのだという思いを新たにすることができます。秋田市で展開している R+ハウスでも断熱と気密では素晴らしい数値が達成されておりますし、これまでの施主の皆様からもご満足の声を頂戴しております。「因果と応報」にはタイムラグがあり、不正は必ず時を経て報いを強いられるものであることを今一度全員で共有したいと思います

雄勝地域振興局と地域の企業を紹介する「ジバカード」を制作しました。そこにも和賀組スピリットが盛り込まれています。



新年会

2月2日(土)恒例の新年会が料亭石川で開催されました。仕事の都合や風邪で参加できない方もいらっしゃいましたが、今年から作業員の皆さんにも参加してもらい、OBの皆さんと共に大勢で盛り上がる事ができました。



犬っこ祭り

2月9-10日に開催された犬っこ祭りでは、今年も湯沢市観光物産協会から湯沢駅前に雪像製作の依頼がありました。携わって頂いた皆さん、寒い中ご苦労様でした。祭り終了後も協会の方がメンテナンスして、駅に降りた方々への観光PRに使用しておりました。



健康経営優良法人 2019

今年も健康経営優良法人 2019 頂きました。一回やればいいものかと思いきや…毎年毎年申請するものようで。改めて見るとその取り組みの多いこと！食生活から長時間労働、メンタルヘルス、ストレスチェック…コミュニケーションに受動喫煙 社員の健康は会社の財産。みんなで健康に心がけましょー！

